

PROGRESS ～前進～

毎日の様子更新中！泉ヶ丘東中HPはこちらから⇒



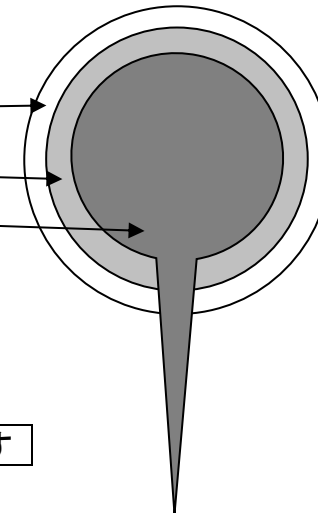
よりよい人間関係を
築くことができるように
<11月・12月>

2学期も残り約1か月半 少し立ち止まって考える

6月発行のNo.3に掲載した内容です。もう一度、おさらいしてみましょう。

人間の脳は、右の図のような3つの層で成り立っています。

- ① 一番外側の白い部分は、『**ヒトの脳**』といって、勉強したり、将来のことを考えたり、言葉を話したり、人間にしかない部分です。
- ② 一つ内側の薄い灰色の部分は、『**ネコの脳**』といって、喜んだり、悲しんだり、笑ったり、気持ちを考える、気持ちをコントロールする脳です。
- ③ そして、一番内側の濃い灰色の部分は、『**ヘビの脳**』といって、命を支える所です。息をしたり、大小便をしたり、物を食べたりするための大切な脳です。



人は、いじめや嫌がらせ、暴力を受けると「ヘビの脳」が弱ります。「ちょっとくらい・・・」「おもしろ半分で・・・」という軽い気持ちでの行為が、相手の「ヘビの脳」を傷つけていることになります。「ヘビの脳」は、命を支えるところ・・・ということは、すなわち、相手の生きる気力をうばっていることになるのです。

(1)無視する (2)からかう (3)おどす (4)暴力をふるう (5)バカにする (6)嫌がらせをする(言う) (7)いじわるをする(言う) (8)仲間からはずす

上にあげたものは、ほんの一例です。相手が「いやだ」と思う行為は、すべてが「いじめ」といっても言い過ぎではありません。

これらのことが、一方的・継続的に続けば、どうなるでしょうか。一度や二度の攻撃ならば、人間は「ヒトの脳」で跳ね返すことができます。一日や二日のことなら、「ネコの脳」で食い止めることができます。しかし、継続的に続くことにより、その攻撃は「ヘビの脳」に達してしまいます。「ヘビの脳」は、命を支える場所・・・そこが攻撃されるということは・・・だから、「いじめ」は人の命をうばってしまうことにもつながる、絶対に許すことのできない、ひきょうな行為なのです。

クラスを見渡して下さい。周りを見渡して下さい。誰かがいやな事をされている場面・・・ないですか？いやな言葉、聞こえてきませんか？体のことや見た目・・・人が気にしていることを平気で言う人、いませんか？

2学期の大きな行事である、体育大会と文化フェスティバルが終わりました。

行事への取り組み方に関しては、よかった点・改善すべき点をきちんと振り返り、次へとつなげてもらいたいと思います。そのことが、日本一の中学校へとつながる第一歩、そして皆さんの成長へとつながる第一歩となります。

そして、今週からは各クラスで「学校生活アンケート」を行い、順次「教育相談」を実施する予定です。悩んでいることのみならず、「こんなことを頑張っています！」といったあなた自身の「ほめポイント」を、ぜひ教えてください。

【集団生活のルールは「80%の楽しさと20%の我慢」】

みんなが好き勝手なことを言い出したり、いやな雰囲気を出したり・・・こんな状態では「集団」としてのレベルアップは期待できません。

さらには、自分(たち)の楽しさや、やりたいことのためだけに、誰かがいやな思い・つらい思いをすることなど、許されるわけがありません。

みんながお互いに、ちょっとずつ気をつかいながら、そして「集団」としての満足できるポイントを見つけていくことが、学校生活をしていく上で、とても大切なことなのです。(ちょっと難しいかな？)

東中が、生徒の皆さんにとって「心のよりどころ」「居場所」になるように、先生たちも頑張ります。皆さんも、色々なところで協力をしてください。

「あなたがルールを守ることによって、
ルールがあなたを守ってくれる」

先日の1年生学年集会で話をされていた内容です。奥が深いですが、まさにこの通りなのです。

服装大丈夫ですか？